

第4 - 国際化や情報化に対応する教育を推進する

|        |         |
|--------|---------|
| 取組 2 2 | 英語教育の推進 |
|--------|---------|

**現状**

経済・社会の国際化・グローバル化の進展により、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ自分の考えや意見を表現できるなど、幅広いコミュニケーション能力が求められています。

このような状況の中、英語は世界の人々をつなぐ国際共通語として、最も中心的な役割を果たしており、子どもたちが21世紀を生きていくためには、「英語」によるコミュニケーション能力などを身に付けることが重要となっています。

本県の学校教育では、ALT (Assistant Language Teacher = 外国語指導助手) とのTT (ティーム・ティーチング) やコミュニケーション活動を積極的に導入するなど、体験的・実践的な英語教育を推進しています。

(小学校)

すべての小学校で、楽しみながら英語を体験的に学ぶことができる音声(「話す」、「聞く」)中心の英語活動を行っています。

|                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| 英語活動の年間実施時数(第5・6学年の平均)<br>(うちALTとのTT) | 19.2時間<br>(75.7%) |
|---------------------------------------|-------------------|

(中学校)

中学校では、英語を「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」ことに慣れ、あいさつや応対、身近な話題などの簡単なコミュニケーションができるよう、体験的・実践的な授業を推進しています。

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 授業中の教員の英語の使用率が50%以上( ) | 41% |
| 全授業におけるALTとのTTの実施率     | 40% |

(県立高校)

県立高校では、言語や文化の理解を深める授業や海外での体験学習などにより、実践的なコミュニケーション能力の育成を推進しています。

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 授業中の教員の英語の使用率が50%以上( ) | 16%       |
| 海外研修(英語圏)              | 15校 / 72校 |

- ・ 英語教育改善実施状況調査結果(文部科学省)
- ・ 県立高校は、「英語」での使用率

**課題**

(小中学校)

- ・ 小学校の英語活動の必修化(平成23年度全面実施)や中学校の英語授業の時数増(平成24年度全面実施)をふまえて、英語のコミュニケーション能力を向上すること
- ・ 小学校の英語活動が中学校の英語教育につながるよう、小中学校の英語教育を連携すること

(県立高校)

- ・ 義務教育の成果を発展させて、英語を母語とする外国人と会話ができるコミュニケーション能力を育成すること
- ・ 英語で書かれたことを読んで理解し、自分の考えを伝える能力を育成すること

**取組の方向**

(小中学校)

- ・ 小学校の英語活動の必修化に備え、英語の指導資料やALTとのTT等、モデル校での実践的研究を行い、その成果をすべての小学校に普及します。
- ・ 小学校教員の英語活動の指導方法等を工夫・改善する研修を行います。
- ・ 中学校では、生徒の「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」の4技能のバランスを図りながら、コミュニケーション能力を養います。

(県立高校)

- ・ A L T との T T の授業などにより、実際のコミュニケーションで英語を活用できる能力を育成します。
- ・ 聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を育成します。

### 主な事業の概要

| 事業の概要  | 担当部署                        |
|--|-----------------------------|
| ・ 授業改善拠点校（小学校英語活動）<br>小学校英語活動の指導方法等の確立に係る実践研究を行い、小学校英語活動の改善・充実を図ります。   | 義務教育課                       |
| ・ 小中学校教員への英語研修<br>小学校教員を対象とした英会話講座や各校の中核となる教員を対象にした英語活動の研修を実施し、小学校教員の指導力の向上を図ります。<br>A L T と合同の研修を実施し、チーム・ティーチングの改善や指導力の向上を図ります。 | 総合教育センター<br>県立女子大学<br>義務教育課 |
| ・ 小中連携英語教育改善事業<br>同一中学校区内の小学校英語活動の実践を生かした中学校英語教育の改善・充実を図ります。   | 義務教育課                       |
| ・ A L T の配置<br>児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を支援するとともに、英語担当教員の指導力の向上に役立てます。   | 義務教育課<br>高校教育課              |

### 達成目標

| 目標の概要  | 基準年度の状況<br>( H 2 0 )        | 目標年度の状況<br>( H 2 5 )        |
|--|-----------------------------|-----------------------------|
| ・ 英語活動の時間が楽しいと感じる児童の割合                         | -                           | 80%                         |
| ・ 授業中の教員の英語の使用率が 5 0 % 以上<br>( 県立高校は、「英語」を対象 ) | ( 中学校 ) 41%<br>( 県立高校 ) 16% | ( 中学校 ) 60%<br>( 県立高校 ) 50% |

### トピックス

#### ・群馬発の英語教育改善の取組

県立女子大学外国語教育研究所では、グローバル時代に対応できる人材の育成を目指し、県内の英語教育関係者などの協力を得ながら群馬発の英語教育改善の方向性を提言してきました。小学校教員への英語活動についての研修や、英語指導助手（A L T）の活用など、提言に基づいた取組が行われています。